

アスパラガス「L字栽培」で 収穫時間を24%削減

県特許を活用した専用資材がいよいよ販売開始

農業技術センター
栽培技術研究部 伊藤
電話：082-429-3066

広島県立総合技術研究所 農業技術センターで開発したアスパラガスの収穫を省力・快適化する栽培技術「L字栽培」（特許第4941930号）を利用した専用資材「らくとれ〜る」が東プレ株式会社（東京都）から販売となりました。

この専用資材を使うことで、生産者は『県との特許契約の手続きが不要』で『必要数量を県内の販売店から入手可能』となりました。

当センターでは、県内生産者に「L字栽培」を紹介するため、8月23日に栽培研修会を開催します。

「L字栽培」専用資材

商 品：「らくとれ〜る」
分 類：アスパラガス 栽培補助器具
特 許：第4941930号（広島県）
販売開始：平成31年4月販売開始（販売中）
参考価格：70円/本（消費税別） 500本/ケース
販 売 者：大信産業株式会社（尾道市）
製 造 者：東プレ株式会社（東京）



アスパラガス栽培研修会を開催！ ※取材可

日時：令和元年8月23日（金）13:30～（2時間程度）

場所：農業技術センター（講堂および圃場）

東広島市八本松町原 6869

内容：L字栽培技術と現地の取組状況の紹介

専用資材の使用方法の実演、ポイント説明



取材対応

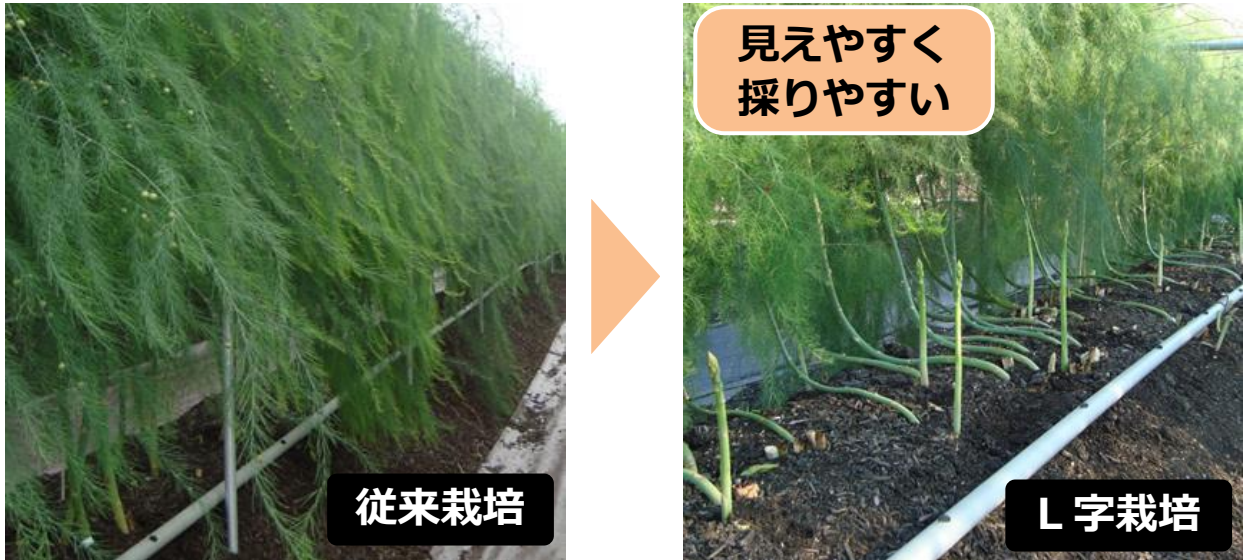
- ・現地（三次市、裏面参照）や当センターにて個別に取材対応いたします。
- ・8月23日（金）の栽培研修会でも取材可能です。
- ◆取材希望の方は、農業技術センターまでお問い合わせください。

担当者：栽培技術研究部 伊藤（電話 082-429-3066）

アスパラガス「L字栽培」とは

「L字栽培」とは、親茎をL字に押倒すことで、新たに伸びてきた収穫する若い芽（アスパラガス）を見つけやすく、収穫しやすくする技術です。

通常の栽培では、成長した親茎の茂みにもぐり込んで収穫するので大変です。しかし、春に専用資材「らくとれ〜る」を使用して親茎をL字に仕立てる「L字栽培」では、収穫最盛期の暑い夏季に効率よく収穫できます。



本技術では、収穫時間を24%削減でき、また、茂みにもぐり込む不快作業の割合も77%から14%と62ポイント低減できます（下表）。栽培全体では、新たに押倒す作業が必要となるため、この削減時間が全て反映されるわけではありませんが、春に仕立てておけば、収穫最盛期となる暑い夏季に効率よく快適に収穫することができます。

「L字栽培」は収穫時間を削減し、不快作業も軽減！

	収穫時間（1本あたり）	茂みにもぐり込む割合
L字栽培	2.4秒（-24%）	14%（-62ポイント）
従来栽培	3.2秒	77%

現地生産者で技術導入の動き

三次市の農事組合法人「東河内の里」では、経営安定と地域人材の活用に向け4年前にアスパラガス栽培を開始しました。しかし、夏季の収穫作業は高齢化した地域の方にとって「しんどい」作業でした。そこで着目したのが「L字栽培」。昨年度、試験的に導入し、収穫のしやすさを実感され、今年度は、専用資材を購入して「L字栽培」の面積を増やし、さらなる作業改善を進めています。